



国民春闘共闘

第 30 号
2022 年 6 月 6 日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

夏季一時金 第 1 回集計

単純平均 1.98 ヲ月 669,417 円、加重 672,706 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は6月2日、第1回の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2022 年	2021 年同期
回答引き出し組合	493	580
うち 有額回答	453(91.9%)	485(83.6%)
うち 妥結組合	108(21.9%)	192(12.0%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2022 年回答	2021 年同期	同期比
単純平均	月数	1.98	1.91	0.07
	額(円)	669,417	612,720	56,697
加重平均	額(円)	672,706	791,633	-118,927
	組合員数	130,624	41,835	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	うち前年実績以上	22 年回答	21 年実績	実績比
単純平均	月数	350	315(90.0%)	2.01	1.93	0.08
	額(円)	195	145(74.4%)	725,319	686,114	39,205

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.661 (0.793)	1.262 (1.222)	0.430 (0.768)	1.235 (1.234)
	額(円)	46,329 (42,350)	212,410 (160,451)	37,411 (19,750)	123,792 (120,930)

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

※非正規の仲間の回答状況のかっこ0内は、昨年最終集約結果

<集計結果の概要>

回答引出し・妥結状況

6月2日の夏季一時金第1回集計には、3pの別表の21単産・部会から報告が寄せられました。493組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は453組合となっています。

回答内容

回答月数が判明している387組合での単純平均(一組合あたりの平均)は1.98ヵ月で、前年同期(21/6/3、1.91ヵ月)を0.07ヵ月上回っています。回答金額が判明している257組合の単純平均は、669,417円で前年同期(612,720円)を56,697円上回っています。また加重平均(組合員一人あたりの平均)は672,706円となっています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な350組合の単純平均を前年実績と比べると、2.01ヵ月で、前年実績(1.93ヵ月)を0.08ヵ月上回っています。額では195組合の単純平均で、725,319円で前年実績(686,114円)を39,205円上回っています。

全体としては、前年同期を若干上回る状況ですが、この間の物価高騰には追い付いていません。この20年間下がっている実質賃金を取り戻すためにも、思い切った回答を引き出す取り組みが求められます。こうした中、JMITUでは東京東部・日本ロール製造支部、東京北部・東洋精機支部、千葉・三和機材支部、日本IBM支部などがストライキで一時金の低額回答に抗議しました。

非正規で働くなかまの回答状況

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の6単産88組合から198件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、111件の獲得報告となっています。月数報告のあった75件の単純平均は0.661ヵ月で、前年最終(0.793月)を0.132ヵ月下回っています。また、金額報告のあった55件の単純平均は46,329円で、前年最終(42,350円)を3,979円上回っています。(額と率は連動しません)

月給制労働者では59件の獲得となり、月数の単純平均は1.262ヵ月、金額で212,410円となっています。

時給制の継続雇用者では、12件の引き出しとなり、単純平均は37,411円となっています。

月給制の継続雇用者では16件の引き出しとなっています。月数の単純平均で1.235ヵ月、金額では123,792円となっています。